



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月30日

上場会社名 サンワテクノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 花山 一八

TEL 03-5202-4011

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	108,179	4.0	2,629	2.1	2,836	4.7	2,016	3.3
2018年3月期第3四半期	104,052	35.5	2,687	75.6	2,976	61.5	2,084	65.6

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 180百万円 (95.6%) 2018年3月期第3四半期 4,110百万円 (370.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	125.95	
2018年3月期第3四半期	150.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	73,695	30,871	41.9
2018年3月期	77,254	27,993	36.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 30,871百万円 2018年3月期 27,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		14.00		16.00	30.00
2019年3月期		17.00			
2019年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	3.2	2,700	34.7	3,000	31.0	2,100	31.9	131.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	16,044,000 株	2018年3月期	14,438,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	998 株	2018年3月期	579,973 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	16,011,344 株	2018年3月期3Q	13,858,183 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(1) 仕入、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続きましたが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に伴い景況に対する不透明感がありました。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、自動車向けの需要が引き続き堅調を維持しておりますが、半導体関連業界・産業機械業界につきましては、米中貿易摩擦により中国をはじめ複数のアジア諸国の経済成長に減速が見られ、当初見込んでいた市場の伸長に対して低調な展開となりました。

このような環境の中で当社グループは、第9次中期経営計画（Challenge 1500）の最終年度も引き続き重点施策を推進しております。電機・電子・機械分野の最新技術と優れた製品情報を融合させたコアビジネスに、ものづくりの先鋭化をサポートするエンジニアリング力とグローバルSCMソリューションをプラスし、グローバルに活躍する独立系技術商社として新たな価値を生み出す取組みを行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,081億79百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益26億29百万円（前年同期比2.1%減）、経常利益28億36百万円（前年同期比4.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益20億16百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、自動車関連業界向け及び環境エネルギー関連業界向けの電機品の販売が増加いたしました。FPD（フラットパネルディスプレイ）関連業界向け及び産業機械業界向けの電機品の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は194億68百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

[電子部門]

電子部門では、自動車関連業界向け及びアミューズメント向けの電子部品の販売が増加いたしました。産業機械業界向けの電子部品の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は809億30百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

[機械部門]

機械部門では、産業機械業界向け及び自動車関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。FPD関連業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は77億79百万円（前年同期比32.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

自動車関連業界向けの電機品の販売、電子部品の販売、設備機器の販売、アミューズメント向けの電子部品の販売、環境エネルギー関連業界向けの電機品の販売及び産業機械業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。産業機械業界向けの電機品の販売、電子部品の販売及びFPD関連業界向けの電機品の販売、設備機器の販売が減少いたしました。この結果、売上高851億50百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益12億4百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

② アジア

アジア地域では、産業機械業界向けの生産設備の販売が増加いたしました。電子部品及び電機品の販売は減少いたしました。この結果、売上高285億2百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益10億92百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

③ 欧米

欧米では、FPD関連業界向けの電機品の販売、産業機械業界向け及びアミューズメント向けの電子部品の販売が増加いたしました。この結果、売上高64億40百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益3億27百万円（前年同期比81.5%増）となりました。

④ その他

売上高は13億54百万円（前年同期比26.1%増）、営業利益17百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っておりません。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、736億95百万円となり前連結会計年度末に比べ35億58百万円減少しました。受取手形及び売掛金の減少が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、428億24百万円となり前連結会計年度末に比べ64億35百万円減少しました。支払手形及び買掛金、短期借入金の減少が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、308億71百万円となり前連結会計年度末に比べ28億77百万円増加しました。資本金及び資本剰余金の増加が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2018年10月30日に公表いたしました2019年3月期の通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2019年1月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,596	10,248
受取手形及び売掛金	39,756	35,366
電子記録債権	6,321	5,528
商品及び製品	10,148	12,519
仕掛品	4	1
その他	1,152	1,029
貸倒引当金	△128	△111
流動資産合計	65,852	64,584
固定資産		
有形固定資産	3,005	3,036
無形固定資産	168	112
投資その他の資産	8,227	5,962
固定資産合計	11,401	9,111
資産合計	77,254	73,695
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,492	15,868
電子記録債務	15,806	15,009
短期借入金	4,522	3,417
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,800
未払法人税等	583	255
引当金	—	59
その他	2,472	1,860
流動負債合計	43,077	38,271
固定負債		
長期借入金	3,500	2,900
長期末払金	613	226
役員退職慰労引当金	76	83
退職給付に係る負債	872	872
その他	1,119	470
固定負債合計	6,182	4,553
負債合計	49,260	42,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	3,727
資本剰余金	1,958	3,548
利益剰余金	19,647	21,170
自己株式	△428	△0
株主資本合計	23,731	28,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,665	2,029
為替換算調整勘定	596	396
その他の包括利益累計額合計	4,262	2,426
純資産合計	27,993	30,871
負債純資産合計	77,254	73,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	104,052	108,179
売上原価	91,992	95,639
売上総利益	12,059	12,540
販売費及び一般管理費	9,372	9,910
営業利益	2,687	2,629
営業外収益		
受取利息	8	13
受取配当金	83	102
仕入割引	27	31
受取家賃	82	98
為替差益	89	—
その他	57	148
営業外収益合計	349	393
営業外費用		
支払利息	40	76
手形売却損	0	—
株式交付費	—	19
売上債権売却損	12	32
為替差損	—	24
その他	7	32
営業外費用合計	59	186
経常利益	2,976	2,836
特別損失		
固定資産売却損	—	30
投資有価証券評価損	—	11
特別損失合計	—	42
税金等調整前四半期純利益	2,976	2,793
法人税等	891	777
四半期純利益	2,084	2,016
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,084	2,016

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,084	2,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,986	△1,636
為替換算調整勘定	39	△200
その他の包括利益合計	2,025	△1,836
四半期包括利益	4,110	180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,110	180
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、公募による新株式発行（一般募集）及び公募による自己株式の処分（一般募集）については、2018年4月16日に払込を受けました。

また、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当による新株発行については、2018年5月16日に払込を受けました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,174百万円、資本剰余金が1,590百万円増加、自己株式が427百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,727百万円、資本剰余金が3,548百万円、自己株式が0百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2017年4月1日至2017年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	73,357	25,535	4,616	103,508	543	104,052	—	104,052
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,042	2,203	1,432	11,678	530	12,208	△12,208	—
計	81,399	27,739	6,048	115,187	1,073	116,261	△12,208	104,052
セグメント利益又は損 失(△)	1,419	1,098	180	2,698	△21	2,676	10	2,687

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額10百万円には、セグメント間取引消去25百万円及び棚卸資産の調整額△15百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	76,609	26,205	4,650	107,465	713	108,179	—	108,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,540	2,297	1,790	12,628	640	13,268	△13,268	—
計	85,150	28,502	6,440	120,093	1,354	121,448	△13,268	108,179
セグメント利益	1,204	1,092	327	2,625	17	2,643	△13	2,629

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△13百万円には、セグメント間取引消去19百万円及び棚卸資産の調整額△32百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	74,485	101.2
アジア (百万円)	20,061	101.2
欧米 (百万円)	2,911	86.3
報告セグメント計 (百万円)	97,458	100.7
その他 (百万円)	549	144.9
合計 (百万円)	98,007	100.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	76,788	94.6	18,245	84.2
アジア	26,524	96.3	8,280	107.1
欧米	5,545	106.5	2,247	125.4
報告セグメント計	108,858	95.5	28,772	92.3
その他	598	105.7	114	117.2
合計	109,457	95.6	28,886	92.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	76,609	104.4
アジア (百万円)	26,205	102.6
欧米 (百万円)	4,650	100.7
報告セグメント計 (百万円)	107,465	103.8
その他 (百万円)	713	131.2
合計 (百万円)	108,179	104.0

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。